

学校教育目標	志高く「凜として」生きていく生徒の育成
育成を目指す資質・能力	「探究」をキーワードに、「学びに向かう力、人間性」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の3観点をバランスよく育成することを目指す。

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> ・正答率や平均点は全国平均を上回っている。 ・表現力(読み取りや推論する力)に課題が見られる。	<b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> ・ほとんどの生徒は前向きに学習に取り組む姿勢が見られるが、家庭学習の取り組み方に差がある。 ・与えられた課題にはよく取り組むが、主体的に課題を求める力が弱い。
	<b>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</b> ・コロナ禍のため、グループ学習を制限した影響もあり、人間関係をつくりにくい状況が見られる。 ・表現力(発表・記述)がまだ不足している。 ・話し合い活動が答えを出すためのものになっていて、学び合うことで再考につながる話し合いができていない。	
指導の状況	<b>1 組織的な授業改善の取組状況</b> ・「上中スタンダード」の学習規律、学習環境については実践できている。 ・各教科で「主体的な学び」を促す指導方法の工夫改善に取り組んでいる。 ・「学び合い」「再考」について授業改善に取り組んでいる。 <b>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</b> ・基礎基本を中心としたプリント集を使って、基礎基本の定着を図る取組を実施している。 ・学力の個人差を減らすために、昼休みや放課後に個別指導を行っている。 ・学習支援員を活用し、授業のサポートや、昼休みを利用した質問教室を実施している。 ・ICT等を活用して班活動を工夫しようとしている。	

学力に関する達成指標

- ・各種学力調査で全ての教科で平均点や正答率を全国及び県平均以上を目指す。
- ・定期テスト等で正答率80%以上の生徒の割合25%以上、40%未満を8%以下を目指す。
- ・「学び合いが自分の考えの再考につながった」生徒の割合90%以上を目指す。
- ・課題の提出率90%以上を目指す。

【授業改善】

【家庭・地域との協働】

**〈授業改善のテーマ・重点〉**  
 (テーマ) 主体的に学習に取り組む生徒の育成  
 (重点) 「課題」を引き受け、様々な対話をしながら、主体的に取り組み、課題を解決していく

**〈取組内容〉**  
 ①「上中スタンダード」の一層の推進  
 ・生徒会活動とタイアップ  
 ②「書く活動の推進」  
 (活用力・説明力・表現力の向上)  
 ・ICTの活用、プレゼンの取組  
 ③基礎基本の定着(朝学習の充実と課題提出の徹底+個別指導の充実)  
 ・昼休みや放課後の学習支援員の活用

**〈取組内容〉**  
 ①教師の授業力、教師力の向上を図る。  
 (授業実践研究、理論研究、単元構想)  
 ②研修会と教科部会の充実

**〈家庭・地域の取組内容〉**  
 ①家庭学習のあり方の啓発  
 ②学校・学年通信等での啓発  
 ③メディア減の取組

**〈取組指標〉**  
 ①学習規律を守った 100%  
 ②板書とノートの一体化、学びの振り返りができるノートにする(ノート点検・指導)  
 ③朝学習の確認テストを実施する  
 課題提出:95%以上  
 (個別の弾力的対応が必要な生徒も)

**〈取組指標〉**  
 ①教科別の検証授業の実施  
 理論研修及び研究  
 ②教科部会月1回

**〈家庭・地域の取組指標〉**  
 ①入学説明会及び入学後のガイダンスで説明(100%)  
 ②学校・学年通信等年間20号以上  
 (学校教育方針や行事を通して学校や生徒の様子等)

**〈検証指標〉**  
 ・学校評価アンケートで肯定的な回答80%以上  
 ・朝学習の確認テスト全員合格

**〈検証指標〉**  
 ・検証授業後のレポートを参考に、授業改善に努める(授業アンケートで肯定的な回答80%以上)

【授業改善以外の学力向上の取組】

- 小中一貫教育を通じての学び方改善
  - ①「家庭学習の手引き」の確認
  - ②相互交流授業やテスト問題の交流(何が求められているかが分かる)
  - ③学校生活・基本的生活の指導の共通化
- 開発的、積極的な生徒指導を行い、不登校・不登校傾向の予防。個別指導にて早期解決を図る

今後の具体的な取組